

会議・打合せ記録

会議録	平成23年度 第1回豊田市公共交通会議
次 第	<p>1. 開 会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 平成23年度における取り組みについて</p> <p>4. 議 事</p> <p>【協議案件】</p> <p>(1) 豊田市公共交通会議規約の改正について</p> <p>(2) 生活交通ネットワーク計画について</p> <p>(3) 基幹バス路線の新規開設について</p> <p>(4) 基幹バス路線の改編について</p> <p>(5) 地域バス路線の変更について</p> <p>(6) 《社会実験》上郷地域バスについて</p> <p>(7) 福祉バス路線の改編等について</p> <p>(8) 自家用有償旅客運送の継続について</p> <p>【報告案件】</p> <p>(1) 豊田市基幹バス・地域バスの利用状況について</p> <p>(2) 平日昼間割引回数券制度・環境家族定期券割引制度の利用状況について</p> <p>(3) バス停名称の変更について</p> <p>(4) 稲武地域バスのバス停数の修正について</p> <p>5. その他</p> <p>6. 閉 会</p>
日 時	平成23年6月28日(火) 13:30~15:30
場 所	豊田市役所 南庁舎 南51会議室

出席者 (敬称略)	<p>【委員】 荻野 弘 (豊田工業高等専門学校) 野田 宏治 (豊田工業高等専門学校) 佐藤 勇恵 (豊田市区長会) 松井 信 (豊田市老人クラブ連合会) 長嶋 鋭治 (社会福祉法人豊田市社会福祉協議会) 澤田恵美子 (豊田市消費者グループ連絡会) 小笠原英喜 (名古屋鉄道株式会社) 梶原雅一郎 (愛知環状鉄道株式会社) (代理：西川) 藤田 信彰 (名鉄バス株式会社) 境 政義 (豊栄交通株式会社) 小林 宏 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会) (代理：鎌倉) 湯谷 孝夫 (愛知県タクシー協会) 長崎三千男 (愛知県バス協会) 西尾 和晴 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局) (代理：平井) 大西 優 (愛知県警察 足助警察署) 戸田 智雄 (愛知県地域振興部交通対策課) (代理：森島) 大原 義朗 (愛知県豊田加茂建設事務所) 高木 勝敏 (愛知県豊田加茂建設事務所 足助支所) 加藤 泰 (豊田市都市整備部)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p>
資料	<p>1. 次第・配席図 2. 資料1～15：豊田市公共交通会議 平成23年度第1回会議資料</p>

(要約)

4. 議事

【協議案件】

(1) 豊田市公共交通会議規約の改正について

○ 事務局 資料に基づき説明

第3条4項を追加(補助要綱に基づくもの、生活交通ネットワークの策定のため)
補助の概要について説明

(2) 生活交通ネットワーク計画について

○ 事務局 資料に基づき説明

○ 委員 稲武地域に限定された計画になっているのはなぜか。

○ 事務局 補助要綱に要件があり、当初4地域(松平、藤岡、保見、稲武)について提案していたが、要件にあてはなまる地域が稲武地区であった。

また、計画については、今後、国と調整していきながら完成させていきたいと思ひます。

(3) 新規路線(仮)上郷・若林線の開設について

○ 事務局 資料に基づき説明

○ 委員 接続する基幹バスとは何を指すのか。岡崎市内線は路線バスという位置づけではないか。

○ 事務局 この路線は、民間事業者の路線であり、市が補助していることから基幹バスという表現をしています。

○ 委員 8番と9番のバス停の間にもうひとつバス停があってもいいのではないか。

- 事務局 道路管理者、交通管理者と協議を実施した中で、カーブや坂などがあり、バス停を設置するには危険であるため、設置しないこととしています。

(4) 基幹バス路線の改編について

- 事務局 資料に基づき説明
- 委員 ダイヤ改正について、どのような原因から実施するのか。市民から要望があったのか、利用状況などのデータに基づいて実施するのか。
- 事務局 地元企業へのヒアリング、実態調査の結果を考慮して、利便性を向上させるためにダイヤ改正を実施したい。
- 委員 トヨタ本社周辺の混雑状況と利用者の増減は関係あるのか。具体的なデータがあって、分析等も実施されているのか。
- 事務局 バス利用者が増加し、自動車通勤が減れば渋滞の長さは短くなると思う。今のダイヤ設定は、さらに利用者を増やすためには問題があると分析している。
- 委員 玄関口バスのモデル地区はずっとあるのでしょうか。
- 事務局 今年度整備を行い、概ね10年は継続していく予定である。
- 委員 利用状況からダイヤ改正をするのではなく、運行経路を住宅よりの路線にしてもらえれば利用が増えるのではないのでしょうか。
- 事務局 例えば河合町1丁目付近なら、名鉄バスの自社路線が運行されており、同じ路線を運行することは民業圧迫になってしまう。今後もバス評価を行い、改善を行っていく予定をしている。

(5) 地域バス路線の変更

- 事務局 資料に基づき説明

(6) 《社会実験》上郷地域バス運行について

- 事務局 資料に基づき説明
- 委員 社会実験は曜日を限定した運行だが、本運行以降はどうなるのか？
- 事務局 曜日は本運行時も変わらない予定。月曜は交流館が休みなので運行を行わない予定。
- 委員 「社会実験である」と周知していくことが大事だと思うが、広報プランはどのように考えているのか。
- 事務局 区長に依頼したり、広報を活用したりすることを予定している。地域会議だより、館報なども利用できると思う。
- 委員 バス停の32、33をつないで8の字にしたらどうでしょうか。豊野高校の生徒へ周知し、利用促進を図ってはどうか。
- 事務局 当初議論にあがったが、自転車利用が多い状況であり、雨の日だけ利用されることを懸念している。まずは、移動手段のない高齢者をターゲットにしたい。
- 委員 今後、利用者を増やすことが必要になるのではないのでしょうか。
- 事務局 高校生は毎日利用したいと考えているが、今回は曜日限定となるため、利用は難しいと考える。しかし、今後需要を見た上で判断したい。
- 委員 実験とはいえ、かなりのバス停がある。1ヶ月のみとはいえどうするのか。
- 事務局 すでにバス停発注を行っている。丸板に関しては検討中。今後、愛称なども検討する予定である。
- 委員 右周り、左周りのスタート時間が同時になっている。タイミングをずらしたほうがいいのか。
- 事務局 検討する。

(7) 福祉バス路線改正について

- 事務局 資料に基づき説明
- 委員 利用者への周知を十分に行ってほしい。

(8) 自家用有償旅客運送の継続について

- 事務局 資料に基づき説明

【報告案件】

(1) 豊田市基幹バス・地域バスの利用状況について

(2) 平日昼間割引回数券制度・環境家族定期券割引制度の利用状況について

(3) バス停名称の変更について

(4) 稲武地域バスのバス停数の修正について

5. その他

(1) 次回会議の開催予定について

- 事務局 次回会議は、平成23年12月ごろに開催を予定しております。
よろしく申し上げます。